

WHO ファクトシート

肺炎

Pneumonia

2016年9月

重要な事実

- ・肺炎は、5歳未満の子どもの全死亡の15%を占め、2015年で推計920136人の死亡原因となっている。
- ・肺炎は、ウイルス、細菌又は真菌により発症する。
- ・肺炎は、ワクチン接種、適切な栄養及び環境因子の改善により予防することができる。
- ・細菌による肺炎は、抗生物質で治療することができる。しかし、肺炎にかかった子どものわずか三分の一しか、必要とする抗生物質の投与を受けることができていない。

本件ファクトシートについて、厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)では全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含めWHOホームページでの原文をご確認ください。

Pneumonia

ファクトシート原文は [こちら](#)